

## 運営推進会議、介護・医療連携推進会議記録

日時	2026年2月27日（金） 15:30～17:00
事業所名	医療生協さいたま生活協同組合 ヘルパーステーションいぶき
サービス種別	定期巡回随時対応型訪問介護看護
記録者	望月
出席者（ 9 名）	<ul style="list-style-type: none"> <li>●埼玉協同病院</li> <li>●ケアセンターきょうどう</li> <li>●ケアセンターすこやか</li> <li>●ケアセンターかがやき</li> <li>●老健みぬま</li> <li>●MC</li> </ul>
会議項目・内容	別紙のとおり
所見・課題・その他	<p>埼玉協同病院の「ふれあい会館第2会議室」にて集合し開催</p> <p><b>【体調の安定を目指す】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●ケアセンターきょうどう様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・組合関連を長く活動してきた方の為、自分でできるという気持ちが強かったが、実際できていず血糖値が400位になることもあり、受診同行した。医師などに状況を説明し根回しした事で医師より本人と娘様へ強めの助言もあり定期巡回のサービスが開始された。</li> <li>1カ月で14→8単位に変更。数値の乱交もあったが現在は140台を保っている。本人は今でもヘルパーは断る、自分でできるわと発言があるが、サービスは続けられている。今回は、医師との連携が大きかった。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【在宅復帰についてのご意見】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●埼玉協同病院様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・在宅に戻る事に対し多くの心配をご家族は持っている。在宅生活の相談に対し定期巡回を勧めていければと思っている。</li> </ul> </li> <li>●みぬま様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・新規申請で初めての利用ではサービスがわからないご家族が多い。お試し利用を勧めたりしているが、在宅への不安からなかなか理解されず、入所期間が長くなったりしている。</li> </ul> </li> </ul> <p><b>【独居でベッド上生活】</b></p> <ul style="list-style-type: none"> <li>●みぬま様 <ul style="list-style-type: none"> <li>・一時的に家に帰りたと思う人いるが、在宅でどうかと思ひ踏み切れない人がいる。</li> </ul> </li> </ul>

●CC すこやか様

- ・独居でも寝たきりでも定期巡回を利用すれば在宅は可能で実際利用している利用者が多い。
- ・食事も、家族がいれば家族が用意されているのを配膳すれば良い。家族との連携は必須。

●CC かがやき様

- ・寝たきりで在宅で過ごせている利用者
- ・家族がいれば家族の力は大きい。
- ・みぬま 2 階の利用者は在宅可能と思われる。
- ・川口市の定期巡回事業所は少ないので連携は必須。

●MC 様

- ・くらしサポータも知られていなくて需要が少ない。地域ケアという意味で定期巡回と共に知名度を上げたい。
- ・→補足) CC すこやか様よりくらしサポについて補足される。  
くらしサポはかなり必要。介護保険外で必要なケアを対応してくれたら助かる。

- ・質問) サービスの骨組みはだれが決めるのか？

→回答) CC きょうどう CM 様  
居宅側でとりまとめている。

●埼玉協同病院様

- ・サービス項目内でできるのか

→回答者) CC きょうどう CM 様

定期巡回の場合、24 時間設定の計画書になっている。サービス内容は利用者  
と関係者と支援会議で話し合っ載せている。

【事業運営の活動についてのご意見】

●CC すこやか様

- ・訪看との連携が強みのある事業所だと思っているが、ヘルパーから看護師への連絡が課題となっている。定期巡回はヘルパーから訪看、訪看から医療への連携が大事だと思っている。
- ・川口市で同じ法人内で 3 事業所が定期巡回をやっているの心強い。

	<p>●CC かがやき様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者件数が一時的に 10 名増えた事で、複数回入るにあたって同行訪問、ケアの統一で工夫した点は？</li> </ul> <p>→回答) いぶき 管理者 訪問予定のヘルパーを複数名同行訪問し申し送りを行っている。また、写真を利用して雰囲気や場所などがわかるようにしている。</p> <p>→補足) CC きょうどう CM 様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・10 名全てが新規というわけではなく、施設と在宅を繰り返している利用者に対しては同行やサービス内容が特に変化なく、それほど大変ではないかも。</li> </ul> <p>【その他】</p> <p>●CC すこやか様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・服薬にあたり、認知症の利用者で往診の先生による連携により対応できた件があった。定期巡回は関係機関との連携やコミュニケーションが非常に大事であると感じている。</li> </ul> <p>●みぬま様</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・施設の連携と在宅の連携と規模が違うのかなとわかった。</li> <li>・相談員として家族と面談していると、家族の心配が多く、在宅はちょっとと言われるとご本人は遠慮され引き続き施設利用となる事がある。相談員も後ろ向きにならずに模索していったほうが良いと学びになった。</li> </ul> <p>【閉会挨拶】</p> <p>●CC きょうどう所長</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・主事例は自分が訪看時代から関わっているのでよく知っていた。服薬さえすれば、血糖値管理さえできれば体調安定するが、なかなかご本人やご家族様の意向を得られなかったが、CM や医師の助言を得る事でサービスを実現できた。今後も、どこにアクションすれば発掘できるか現場の介護士と他業種と連携しながら定期巡回をこれからも営業していきたい。</li> </ul>
<p>次回の会議予定日</p>	<p>2026年 9月頃 予定</p>

※ 記入欄は適宜調整してください。収まりきらない場合は2枚以上でも差し支えありません。

※ 会議の記録は、この書式以外でも差し支えありません。